

# 地域自治区問題を問う

**質問** 合併して10年、〇〇区という居住区の名前に市民が慣れてきた今年になつて「区」を無くすという話が出てきた。市民・市にとって重要な問題と考えるが、残り一年しか無くなった時点まで何も対策をしなかったのはなぜか。市の最高規範である自治基本条例では「条例、規則等の改廃及びまちづくりの計画策定、変更にあたっては最大限尊重しなければならない」とある。6月議会の議決を覆すような1年延長を提案するのは議会軽視ではないか。

**市長** 提案者の考えを明らかにして、二元代表である議会と市長が判断すべきである。

**質問** 市民は区を無くすことのメリット、デメリットについて質問していたが明確な回答を。

**市長** 直接的なメリット、デメリットということではなく一体感を持った市政運営を進めるために一つの自治体としての形を目指す。

**質問** 奥州市5区のうち3区の住民が区の存続を求めている。その根源について市長はどう考えるか。

**市長** 当初の考えの通りに進めるべき。今後少子高齢化が進んでいくことを考えると現状の形では市民に応分の負担をいただくことになるかもしれない。



すかわら けい子 議員(新世会)



市内30地区で開催した市政のあり方広聴会

**質問** 「協働のまちづくり」をするにしても市民は納得ができれば動かないのではないのか。中央集中型のシステムは逆に時間のロス、経費のロス、職員健康を損ねることになるのではないのか。

**市長** 財政が豊かなら、分権型の行政も可能だが、今後の奥州市を考えていくためには中央集中型で進むことが重要である。

**質問** 胆沢ダム完成によって、周辺地域が整備された。特に奥州湖に沿った市道谷子沢南前川山線の舗装工事が完了し、その市道を走行し、湖面と山々の景観は観光スポットになりうると感じた。しかし、湖面に沿う市道におろせ広場の駐車場が1カ所のみで、周囲の景観を眺められる駐車場が、あと2カ所は必要と思う。また、国道397号線から谷子沢南前川山線出入口の近くのつぼ沼の広場と、その周辺の施設が手入れされていない。なぜか。

**市長** 胆沢ダム管理事務所によると、この地を訪れた人は、昨年7月から今年の10月までの1年3カ月間に10万人を超え、紅葉シーズンには1日2千人が訪れている。この市道沿いに車を止めて写真を撮る状況も見られるが、ハザードランプをつけての駐車を願いたい。つぼ沼の広場やその周辺のトイレや施設については、平成28年度で廃止の方向であったが、市観光基本計画において、胆沢ダム周辺の観光資源の見直しについて検討する。

## 学校統合の条件は

**質問** 市内の小・中学校において学校の統合が進んでいるが、統合には、どのような条件が必要か。また、新校舎を建設する場合、耐震化や冷暖房、シックススクール症候群、災害時の避難経路、駐車場の確保、自然エネルギー等を十分検討されているのか。

**教育委員長** 統合する根拠は、学校の

## 観光対策を問う



市道谷子沢南前川山線から奥州湖を望む

老朽化と少子化が進んできたことで、学校適正検討委員会を立ち上げ、いろんな角度から調査しての結果である。また、学校建設には予算の範囲内で十分対応している。

**質問** 廃校になった前沢区の小学校を調査すると、多くの学校はベニヤ板で覆われている。利活用を考えないのか。また胆沢区の廃校になる中学校の利活用を検討されているのか。

**市長** 廃校は、地元が活用することを第一義と考えている。また、胆沢区の廃校になる中学校の利用については、検討していない。



ちば 千葉 てるう 議員(市民クラブ)